

平成29年11月



損保ジャパンの個人分野火災保険

火災の先生

番外編 THEすまいのハザードマップ活用バイブル

THE すまいのハザードマップ

交通事故マップ

THE すまいのハザードマップ

神奈川県川崎市高津区二子 事故多発地点

お住まいの住所の標高 14 m

リスク度合 **中** (浸水)

お住まいの住所から半径3km以内にある交通事故多発地点 **4** 箇所

被害予測 **一部損壊**

お住まいの住所における洪水時の想定浸水深 **0.0~0.5m**

大人の手まで達する

1事故あたりの

国土省 国土数値情報 浸水想定区域より ※1

国土省河川局「治水経済調査マニュアル(案)」より ※2

損保ジャパン日本興亜アータより ※1

地震 地震発生リスク

THE すまいのハザードマップ

神奈川県川崎市高津区二子

発生確率 リスク高 80%~

リスク度合 **高** (地震発生)

お住まいの住所における震度6弱以上の地震発生確率(今後30年間) **83.1%**

防災科学技術研究所 建築物的地震動予測地図より ※1

事故発生率ランキング

393 位/1190 (市区郡単位)
全国1190の市区郡における神奈川県川崎市の事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金 **131.1万円** (全国平均)

お住まいの住所は、若しく危険な密集市街地に **該当していません。** ※2

お住まいの住所における今後30年間の地震発生確率および建物の被害予測 ※3

震度	発生確率	全壊確率	被害予測
5強以上	99.2%	0.0%	0.5%
6弱以上	83.1%	3.8%	12.7%
6強以上	33.7%	33.3%	46.9%

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)

1. THEすまいのハザードマップとは？	P1
2. 開発目的・コンセプト	P2
3. THEすまいのハザードマップの5つの特長	P3
4. 操作の手引き	P5
5. 活用例	P13
6. よくある質問	P21
■ハザードマップ情報等について	P21
■当社データについて	P22
■活用方法について	P23
■操作方法・機能について	P24
7. ご利用上の注意	P25
8. (参考)事前トライアル	P26
9. (参考)消費者モニター調査	P27



1. THEすまいのハザードマップとは？

THEすまいのハザードマップは、公的機関等から入手した各種データおよび損害保険ジャパン株式会社(以下、「当社」といいます。)が保有している保険金支払データ等を用いて、当社が独自に評価・分析・作成した当社オリジナルの総合的ハザードマップサービスです。

何ができるの??

- お客さまのご住所における地震発生確率や洪水時の想定浸水深などのリスク度合をハザードマップで表示できます。
- 写真付き事故例の紹介や当社保険金支払実績等のデータを表示できます。

<主なコンテンツ>

- ・地震リスク(地震発生確率、液状化、地震被害予測、津波浸水予測、保険金支払実績など)
- ・水災リスク(洪水時の想定浸水深、最大降水量、土砂災害危険箇所、浸水時被害予測、保険金支払実績など)
- ・その他自然災害リスク(台風、竜巻、落雷、雪災)、交通事故リスク
- ・緊急時マップ(最寄の避難施設、病院、消防署、警察署など)
- ・上記リスクの評価に基づく個火総おすすめプラン

いつ使うの??

- 代理店の皆さまが火災保険の募集時に、募集支援ツールとして、ニーズ喚起等のために使用していただけます。
- 火災保険以外にも、自動車保険の更改時などに情報提供として有効ですので、他種目販売や世帯販売のドアノックツールとしても活用していただけます。
- 保険募集時以外にも、お客さまとの接点強化を目的として、幅広く活用していただけます。

誰が使えるの??

- 当社の代理店に所属している方(火災保険の募集人資格あり)であれば、どなたでも使用していただけます。(お客さま自らが直接利用するサービスではありません。)

どうやって使うの??

- ノートパソコンやタブレット型端末等から、インターネットブラウザ上で所定のURLにアクセスし、ログインするWEBアプリケーションです。
- タブレット型端末等でWEBアプリの画面をお客さまにお見せし、リスクコンサルティングしていただきます。また、ハザードマップレポートをPDF化し、メールで添付送信したり、印刷して郵送や手交することも可能です。



注意点

【ご利用上の注意】

PDFレポートよりWEB上の画面の方が、掲載されている情報(コンテンツ数)が豊富で、ハザードマップも見やすいため、原則、タブレット型端末等で使用してください。

なお、PDF化してご利用いただく場合は、以下、留意してください。

- ・印刷する場合、A4カラーを設定してください。

※WEB上の画面を直接プリントアウトし、お客さまに提供することをご遠慮ください。

- ・レポート表紙(2枚目)に、「ご利用上の注意」が記載されていますので、PDFのみを交付する場合には、必ず、レポート表紙もPDF化の上、お客さまに提供してください。



【OS・ブラウザのご利用環境について】

ご利用可能なOS、ブラウザは下記のとおりです。

1. PC : Windows 7 + IE11、Windows 8.1 + IE11、Windows 10 + IE11
2. タブレット(※) : [iOS] iOS 8 (8.1以上) + Safari、iOS 9 + Safari、iOS 10 + Safari
[Android] Android 5.x.x + Chrome、Android 6.x.x + Chrome、Android 7.x.x + Chrome

※ご利用の端末(機種)によっては、一部画面崩れなどが発生することがあります。

(注) ご利用可能以外のOS、ブラウザでも利用することは可能ですが、画面表示が崩れる、ボタンが動作しない、想定外のエラーが発生するなどの不具合が発生する場合があります。

2. 開発目的・コンセプト

- 近年、日本列島は東北地方太平洋沖地震や熊本地震等の相次ぐ大地震に見舞われています。また、台風やゲリラ豪雨等、異常気象による自然災害も増加傾向にあります。それらに伴い、日本国民の災害に対する意識や関心は高まりつつあると考えられます。
- 一方で、災害対策の1つとして有効であり、国土交通省や各地方自治体等も活用を勧めているものとして各種「**ハザードマップ**」が挙げられますが、実際に活用されている方は限定的であり、「名前は知っているが見たことはない」という方が多いのも現状です。
- 自然災害の経済的な備えとして大きな役割を担うのが損害保険(火災保険・地震保険等)ですが、一般消費者の方にとっては馴染みの薄いものという声が多く、商品理解についてはまだまだ発展途上といえます。保険会社の使命として、火災保険の理解度を高めていただき、より身近に感じていただくことが、お客さまの納得感醸成に大切だと考えています。
- また、代理店の皆さまにおかれましては、パンフレット等の募集ツールを使用して募集活動をしていただいておりますが、かねてより、パンフレット+αとなる新しい募集支援ツールの開発を望まれる声が多く寄せられていました。

以上の理由から、今般、当社オリジナルのハザードマップサービスである「**THEすまいのハザードマップ**」を開発いたしました。本サービスは、GIS※の技術を活用し、集約した各種データを迅速にハザードマップ等で可視化することで、**顧客体験価値の向上を促し、かつ補償アップによる増収を実現すること**を目的としています。また、パンフレット等の募集ツールと併用することで、例えば、火災保険の募集経験が浅い募集人の方であっても、スムーズなニーズ喚起等を実現できるよう、**募集品質の維持・向上**に活用していただきたいと思います。

是非、火災保険募集時の強力なパートナーとして、本サービスを積極的に活用していただきますようお願いいたします。

※GIS (Geographic Information System: 地理情報システム) とは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ (空間データ) を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。

代理店のメリット

- ①補償アップによる増収
- ②顧客満足度向上による離脱防止
- ③他社差別化による新規獲得
- ④適確なリスクコンサルティングによる信頼感の醸成
- ⑤画一的な募集品質の維持・向上



お客さまのメリット

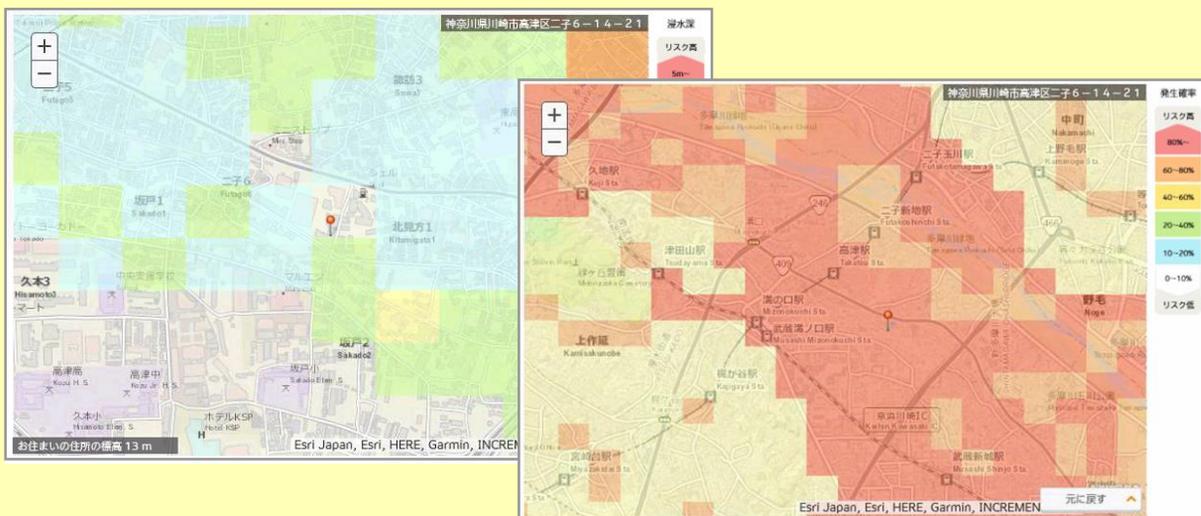
- ①客観的データに基づくリスク実態の理解促進
- ②最適な補償内容で加入する火災保険への納得感の醸成
- ③火災保険の補償内容の理解促進による保険金請求マインドの醸成

3. THEすまいのハザードマップの5つの特長



見える 公的機関等が開示しているハザードマップ情報を一元化し、デジタル化！ パッとお見せできます！

リスク量を客観的なデータでお伝えすることで、合理的で説得力のある保険提案につながります。地震保険の付帯推進等の営業推進に活用いただくのはもちろんのこと、お客さまの納得感醸成にも大きく寄与します。



気づく 写真付き事故例により、お客さまに事故のイメージをリアルにもっていただけます！

「火災保険って火災だけじゃないの？」というお客さまには、「こんなに使える火災保険」を改めてアピールすることができます。

大雪によるカーポートの破損



平成26年2月関東大雪の被害（埼玉県鴻巣市）
(契約者提供)

事故事例
積雪が30cm以上となり、カーポートがその重さに耐え切れず、破損してしまっ

お支払保険金例 **22.2**万円

強風による窓ガラスの破損



画像はイメージです

事故事例
爆弾低気圧の影響で強風が発生。飛来物により窓ガラスが破損した。

お支払保険金例 **20.5**万円

3. THEすまいのハザードマップの5つの特長



分かる お客さまの街の保険金お支払情報等をオープン！
災害と保険を「自分ごと」としてご認識いただけます！

「全国的に〇〇」と言われてもピンと来づらいですが、例えば「新宿区では〇〇・・・」など、自分の住む街のことを言われると、自分ごととなり、効果的なニーズ喚起が可能です。



地震保険セットプラン

地震・津波のリスク度合が「高」なっていますので、地震保険をセットすることを強くおすすめします。

POINT 地震保険の保険金額は、最大で火災保険の保険金額の50%です。損保ジャパン日本興亜の「地震危険等上乗せ特約」をセットすれば、地震保険と合わせて、最大で火災保険の保険金額の100%まで補償することができますのでおすすめです。

神奈川県川崎市の加入率^{※1}

65%
(全国平均66%)



選べる 火災保険に関わるあらゆるリスクをハザードマップ化！

多数あるコンテンツから、お客さまのリスク情報や契約情報、関心事等により、適宜、最適な情報を選択して提供していただけます。

地震発生

津波

液状化

浸水

土砂災害

台風

竜巻

落雷

積雪

交通事故

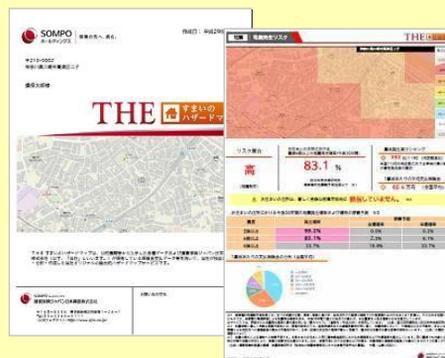


簡単・便利 インターネット環境があればどこでもアクセス可能！
PDF出力も可能！

代理店の皆さまの使いやすさを重視し、代理店システムとは独立したWEBアプリとしていますので、タブレット型端末等でどこでも気軽にアクセスが可能です。また、簡易版をPDF出力できますので、メールで送信したり、プリントアウトして紙ベースでご案内するなど、お客さまのニーズやさまざまな状況に応じた利用が可能です。



or



4. 操作の手引き

ログイン～ご利用上の注意の確認

サイトURL

<https://sompogis-hazardmap.sjnk.co.jp/1/>

POINT

インターネットブラウザのお気に入り登録をしておく
と便利です！

QRコード



注意点

本サービスは、代理店の皆さまがお客さまに対してご使用いただくことを前提に設計していますので、お客さまに上記URLをお知らせして直接アクセスしていただくような使い方はご遠慮いただきますようお願いいたします。（上記URLは、当社代理店の皆さま厳秘として運用いただきますようお願いいたします。）

ログイン画面

POINT

使いやすさを重視し、ログインは代理店コード(5桁)の入力のみ！

代理店情報登録画面

POINT

入力された代理店名と連絡先はPDFに自動表示されますので、必要に応じて適宜修正してください。

POINT

フリー欄には、募集人名や募集人電話番号、メールアドレス等を適宜入力してください。（入力した内容がPDFに表示されます。）

4. 操作の手引き

ログイン～ご利用上の注意の確認

お客さま情報入力

お客さまの情報を入力してください ログアウト

お客さま氏名

お客さま住所

郵便番号 ※ハイフンなし

都道府県

市区町村 X

丁目・番地・号 ※マンション名、号室は入力不要

建物構造 構造

> 次へ

POINT

郵便番号を入力すると都道府県・市区町村の入力を省略できるので便利です。(一部、対象外あり)

POINT

丁目・番地・号の入力は任意です。
ただし、お客さまの住所を正確に検索するため、できる限り詳細な住所を入力してください。
※入力した住所はPDFにも自動的に表示されます。

住所確定

お客さま住所を確定してください ログアウト

ピンがお客さま住所を指しているかご確認ください。
ピンがお客さま住所を指していない場合は、正しいお客さま住所を地図上でクリックし、ピンを再設置してください。

入力された住所 [〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1](#)



> この場所で確定する

戻る

POINT

稀に、正しく住所を指さない場合がありますので、その場合は地図上のポイントをドラッグ&ドロップで移動し、住所を確定させてください。

4. 操作の手引き

ログイン～ご利用上の注意の確認

ご利用上の注意の確認

ご利用上の注意

1. データご利用上の注意

- (1) THE すまいのハザードマップ（以下、「本サービス」といいます。）は、公的機関等から入手した各種データおよび損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下、「当社」といいます。）が保有している保険金支払データ等を用いて、自然災害等のリスク度合について助言を行うサービスです。
本サービスで表示している各種データ等については、過去の実績およびそれに基づいた将来予測ですので、各種自然災害等が想定通りに発生すること、およびその被害の程度を確約するものではありません。あくまで可能性の一つであることをあらかじめご了承ください。
- (2) 本サービスは、公的機関等から入手した各種データ、当社保有データおよびE s r i と E S R I ジャパン株式会社※の地図データ等を元に作成しています。各種データは、平成29年2月1日時点で入手可能な最新のものを使用していますが、その後の土地の造成等や自然災害の発生等により、現況が本サービスの内容と一致しない場合があります。
※本サービスにおける地理情報システムは、E S R I ジャパン株式会社の協力のもと構築しています。
(E S R I ジャパン株式会社HP：<http://www.esrij.com/>)
- (3) 本サービスにおいて使用している国土数値情報は、各都道府県の提供資料等に基づいて組成されたデータが含まれているため、都道府県によっては一部データが表示されない場合があります。ハザードマップの情報につきましては、お住まいの都道府県や市区町村のホームページ等で公表されているデータ等もあわせてご確認ください。

2. 著作権、財産権その他の権利

- (1) 本サービスに含まれているコンテンツおよび各種情報、商標、画像、デザイン等（以下、「コンテンツ等」といいます。）に関する著作権、商標権その他の知的財産権・財産権は、当社もしくは当該コンテンツ等を制作した著作者または著作権者に帰属しています。

▶ ご利用上の注意を確認して、次へ

戻る

POINT

必ず内容を確認した上で、「次へ」を押下してください。



注意点

本サービスで表示している各種データ等については、過去の実績およびそれに基づいた将来予測ですので、各種自然災害等が想定通りに発生することを確認するものではありません。仮に、リスク実態が低い場合であっても、当該自然災害が発生しないと断言しないようにご注意ください。

リスク度サマリ

リスク一覧

災害区分	リスク区分	リスク度合
地震・津波	地震発生	高
地震	液状化	低
	津波（南海トラフ地震）	低
	津波（首都直下地震）	低
水災	浸水	低
	降水	中
	土砂災害	低
風災	台風	高
	竜巻	低
落雷	落雷	低
雪災	積雪	低
その他	交通事故	高

POINT

リスク度合が「高」のときに「高」が表示されます。ご説明の優先順位付けにご活用ください。

POINT

押下すると、それぞれのリスクページに遷移します。

4. 操作の手引き

リスク度サマリ

おすすめプラン

リスク一覧 | おすすめプラン | ログアウト

損保太郎様 へのおすすめプラン

地震保険セットプラン

地震・津波のリスク度が「高」となっていますので、地震保険をセットすることを強くおすすめします。

POINT 地震保険の保険金額は、最大で火災保険の保険金額の50%です。損保ジャパン日本興亜の「地震危険等上乗せ特約」をセットすれば、地震保険と合わせて、最大で火災保険の保険金額の100%まで補償することができますのでおすすめです。

東京都新宿区の加入率 [詳しく](#)
57%
(全国平均63%)

家財セットプラン

思っている以上に家財は高額です。家財にも地震保険をセットすることをおすすめします。

POINT 昨今、耐震性の高い建物が増えてきていますが、建物に損害が無くとも、家具等の転倒等により、家財に大きな損害が発生する割合が高くなっています。
[平成28年度前本地震のデータを見る](#)

東京都新宿区の加入率 [詳しく](#)
40%
(全国平均56%)

POINT
リスク実態に応じておすすめプランが表示されます。

POINT
全国平均とお住まいの地域の加入率が表示されます。「ご近所さんはどうしてるの？」という素朴な疑問に応えます！

注意 地震保険とともに地震危険等上乗せ特約のおすすめが表示されます。是非、地震危険等上乗せ特約の提案きっかけトークにご活用ください。
※地震危険等上乗せ特約の取扱いについては、事前に所定の登録が必要ですのでご注意ください。

全国版ランキング

事故件数ランキング | 平均支払額ランキング | ログアウト

第1位	水災 > 風災 > 雪災 など
第2位	> 不測かつ突発的な事故(破損・汚損など)
第3位	> 漏水などによる水濡れ
第4位	> 建物外からの物体の落下・飛来・衝突など
第5位	> 落雪
第6位	> 雨崩れによる崩落・損傷・汚損
第7位	> 火災

大雨による土砂災害

平成25年台風18号による土砂災害(滋賀県栗東市)(県政庁ホームページより)

事故事例
台風による大雨で地盤が緩み、土砂崩れが発生して建物が損壊した。

お支払保険金例 **798.1**万円

POINT
事故種類を押下すると写真付きの事故例が表示されます。

(注1) 損保ジャパン日本興亜のデータ(平成27年度個人用火災総合保険 保険金支払実績)より
(注2) ランキングには地震保険の保険金支払実績は含まれません。
(注3) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

4. 操作の手引き

リスクページ

標準表示

POINT

押下すると、お客さま登録画面に戻れます。

POINT

押下すると、マップの縮尺を変更できます。

POINT

押下すると、ハザードマップエリアを拡大できます。

The screenshot shows a user interface for risk assessment. At the top, there are tabs for '地震発生リスク' (Earthquake occurrence risk), '液状化リスク' (Liquefaction risk), and '津波リスク' (Tsunami risk). A map of the user's location is displayed with a legend on the right showing risk levels from 0-10% to 60%-80%. Below the map, a 'リスク度合' (Risk level) section shows a '高' (High) risk of 47% for earthquakes within 30 years. To the right, an '事故発生率ランキング' (Accident occurrence rate ranking) shows the user is in the 255th position out of 1190 municipalities, with an average compensation of 85.4 million yen. A yellow warning banner states that the user's location is not in a highly dangerous dense urban area. Below this, there are sections for '災害事例・事故事例紹介' (Disaster/accident case introduction) with images and text, and a '詳細を見る' (View details) button.

ハザードマップ
エリア

リスク度合
説明エリア
(メイン)

災害事例・
事故事例
紹介エリア

POINT

押下すると、リスク度合説明エリア(サブ)が表示されます。

POINT

画面上の青字を押下すると説明文が表示されます。

POINT

押下すると、有名災害情報や事故事例紹介などが表示されます。

【事故発生率ランキングとは？】

災害区分別、市区郡単位の当社保険金支払データによる事故発生率ランキング※です。全国にある全1190の市区郡のうち、お住まいの住所が属する市区郡の事故発生率がどれくらい高いかを、ランキング形式で表示しています。ランキングの順位が上位になるほど、事故発生率が相対的に高いことを示しています。

※保険金支払件数および契約件数が所定の件数に満たない場合、「データなし」と表示しています。

4. 操作の手引き

詳細表示

地震発生リスク
液状化リスク
津波リスク
(南海トラフ地震)
津波リスク
(首都圏下地震)
ログアウト

リスク度合

高

(地震発生)

お住まいの住所における
震度6弱以上の地震発生確率

47%

(今後30年間)

[国土研究開発法人防災科学技術研究所
強中期的地震動予測地図より①](#)

事故発生率ランキング

① **255**位/1190 (市区部単位)

全国1190市区部における東京都新大塚区の事故発生率の順位 [③](#)

1事故あたりの平均支払保険金

④ **85.4**万円 (全国平均) [⑤](#)

⚠ お住まいの住所は、著しく危険な密集市街地に **該当していません。** [⑥](#)

お住まいの住所における今後30年間の地震発生確率および建物の被害予測 [⑥](#)

震度	発生確率	被害予測	
		全壊確率	半壊確率
5強以上	91.6%	0.0%	0.3%
6弱以上	47%	2.3%	8.1%
6強以上	8.2%	18.8%	33.7%

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均) [⑦](#)

詳細を閉じる ▲

平成28年 熊本地震

平成28年4月14日および16日に、熊本県熊本地方を震源とする最大マグニチュード(M)7.3の地震が発生した。

【動画】身近に迫る地震

地震による建物損壊(一戸建)

地震による家財の損傷

ハザードマップ
エリア

リスク度合
説明エリア
(メイン)

リスク度合
説明エリア
(サブ)

災害事例・
事事故事例
紹介エリア

4. 操作の手引き

PDFで保存

PDF化対象選択

PDFで保存するページを選択してください。

<input type="checkbox"/> すべて選択	リスク区分等	リスク度合
<input checked="" type="checkbox"/>	レポート表紙	—
<input type="checkbox"/>	リスク一覧	—
<input checked="" type="checkbox"/>	地震発生	高
<input type="checkbox"/>	液状化	低
<input type="checkbox"/>	津波（南海トラフ地震）	低
<input type="checkbox"/>	津波（首都直下地震）	低
<input type="checkbox"/>	浸水	低
<input type="checkbox"/>	降水	中
<input type="checkbox"/>	土砂災害	低
<input type="checkbox"/>	台風	高
<input type="checkbox"/>	竜巻	低
<input type="checkbox"/>	落雷	低
<input type="checkbox"/>	積雪	低
<input type="checkbox"/>	交通事故	高
<input type="checkbox"/>	緊急時マップ	—

注1 すべてを選択した場合、PDF生成に時間を要することがありますのでご注意ください。

> 選択したページを保存する

キャンセル

POINT

各リスク区分ごとにPDF化の対象を選択できます。選択されたリスク区分が多い場合、PDFの生成に時間を要しますのでご注意ください。

POINT

【このページを保存】
表示中のリスク区分のみをPDF化します。（マップの縮尺は表示中の画面の縮尺のままPDF化することができます。）

【一括して保存】
選択したリスク区分を一括でPDF化します。（マップの縮尺は固定です。）



注意

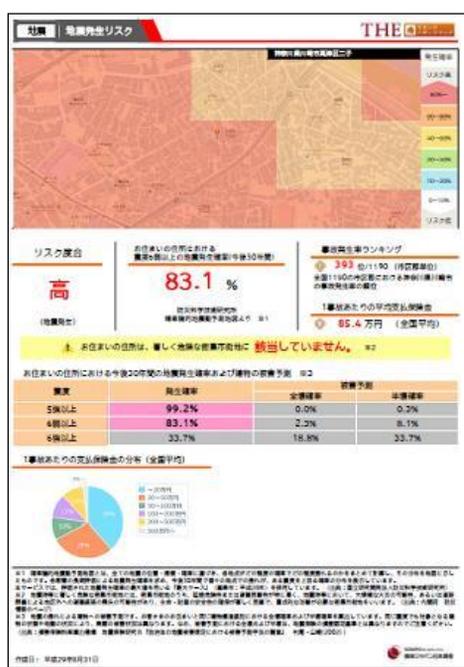
レポート表紙(2枚目)に、「ご利用上の注意」が記載されていますので、PDFのみを交付する場合には、必ず、レポート表紙も印刷の上、お客さまにご案内ください。

(参考) 出力PDFイメージ

レポート表紙



リスクページ



4. 操作の手引き

(参考) 災害事例・事故事例紹介ページ

災害事例

平成28年 熊本地震



熊本城の被害の様子

平成28年4月14日および16日に、熊本県熊本地方を震源とする最大マグニチュード (M) 7.3 の地震が発生し、熊本県益城町で震度7を観測したほか、九州地方から中部地方の一部にかけて震度6強～1を観測した。死者120人、負傷者2,337人、住家全壊8,204棟、住家半壊30,390棟、住家一部破損139,320棟、火災15件などの被害が生じた(平成28年9月30日時点、総務省消防庁による。)

損保ジャパン日本興亜での保険金支払について

■保険金支払件数: **73,234** 件

■合計保険金支払額: **1,349.5** 億円

出典: 気象庁「【災害時地震報告】平成28年(2016年)熊本地震」を加工して作成

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/saiqajiji/saiqajiji_2016.html

(注) 平成28年12月22日時点、地震保険の保険金支払実績(火災保険の特約等を含みます。)

× 閉じる

事故事例

大雪によるカーポートの破損



平成26年2月関東大雪の被害の様子(埼玉県鴻巣市)

事故事例

積雪が30cm以上となり、カーポートがその重さに耐え切れず、破損してしまっ

お支払保険金例 **22.2** 万円

雪災の補償内容のポイント

個人用火災総合保険では、積雪等により保険の対象に損害があった場合、損害保険金として、保険金額を限度に損害額から自己負担額を差し引いた額を**全額**お支払いします。一方、住宅総合保険等の従来の火災保険の場合、雪災における損害は、損害額が**20万円以上**でなければ保険金をお支払いすることができませんので、注意が必要です。

(注1) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

(注2) このページは、「個人用火災総合保険」の概要について説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり」またはパンフレット等をご覧ください。

× 閉じる

POINT

当社で事前に実施した消費者モニター調査(P. 27参照)においても、罹災時の写真はニーズ喚起として効果があることが確認されています。災害を「自分ごと」として捉えていただくとともに、もしもの時に、火災保険がお役立ていただけることを改めてお伝えしましょう。

5. 活用例

主な活用例一覧

- | | |
|---------------------------|-----|
| 1. 地震保険・地震危険等上乘せ特約の推進 | P14 |
| 2. 水災のリスクコンサルティング | P15 |
| 3. 個火総の補償内容の説明 | P16 |
| 4. 他種目提案等の訪問のきっかけ作り | P17 |
| 5. 交通事故多発マップを活用した他種目アプローチ | P17 |
| 6. 「内閣府(防災)からの重要なお知らせ」と併用 | P18 |
| 7. 保険料クイック試算の活用 | P18 |
| 8. その他 | P19 |
| ■ 話のネタに活用 | P19 |
| ■ 新規白地開拓で活用 | P19 |
| ■ お客さま専用レポートとして特別感の演出に活用 | P19 |
| ■ 更改のご案内に同封して活用 | P20 |
| ■ 企業開拓の時にも活用 | P20 |
| ■ 来店型店舗の受付で活用 | P20 |
| ■ 保険手続きNaviとともに活用 | P20 |



© JAPAN-DA

上記活用例はあくまで参考ですので、是非、代理店の皆さまの募集スタイルにうまく落としこんで、有効的に活用していただきますようよろしくお願いします！

5. 活用例

(代) = 代理店さま
(契) = 契約者さま

(1) 地震保険・地震危険等上乗せ特約の推進

新規時

更改時

リスクを知る！

(代) ご覧のとおり、お客さまのご住所ですと、今後30年間で震度6弱以上の地震が発生する確率は「83.1%」とされています。リスク度はズバリ「高」です。(①)
(契) えっ、かなり高いみたいだけど、本当に？
(代) 本データは、防災科学技術研究所が算出しているものですので、信頼性は高いと思いますよ。また、震度6強以上の地震が発生した場合、お客さまのような鉄骨造の建物の場合、約3割が全壊してしまうという研究結果もあります。(②)
(契) 地震はいつどこで起きてもおかしくないと言われてるけど、全壊と言われると怖くなってきた……。

写真付き事故例で語る！

(代) こちらの写真をご覧ください。(③)
(契) 延焼の写真かな。大変な状況だったんだね……。
(代) 地震というと、地震による倒壊が思い浮かびますが、地震による火災も深刻な被害をもたらします。地震保険に加入していないと地震による火災は補償対象外です。(④)

当社データで説得力UP！

(契) でも保険に入っても結局保険金が支払われない、なんて話を聞くからな。
(代) こちらをご覧ください。(⑤) こちらは損保ジャパンのデータになりますが、お客さまのような鉄骨造の建物の場合、1事故あたり平均で130万円強の保険金をお支払しています。お支払の分布でいうと、お支払のうち、27%のお客さまが100万円以上の保険金を受け取られています。(⑥)
(契) 意外と少ない金額でもちゃんと支払われているんだね。でも、みんな地震保険って加入するのかな……。
(代) こちらをご覧ください。(⑦) お客さまがお住まいの川崎市ですと65%の加入率なので、ほぼ全国平均と同じですね。
(契) 結構、みんな加入しているものなんだね！

自然な流れで地震上乗せも提案！

(地震危険等上乗せ特約 販売登録代理店のみ)

(契) このおすすめプランに表示してある「地震危険等上乗せ特約」って何？(⑧)
(代) こちらは、損保ジャパンのオリジナルの特約で、この特約をセットすれば地震保険と合わせて、最大で火災保険の保険金額の100%まで補償ができるものです。
(契) そういう特約もあるんだね。毎年同条件で更改していたけど、もう少し地震について考えないといけないね。保険の説明だけでなく、いろいろな情報提供ありがとう！さすが損保ジャパンの代理店だね！

リスク度合
高 83.1% (今後30年間)

事故発生率ランキング
① 393位/1190 (市区都単位)
全国1190市区都における神奈川県川崎市の高層ビル等の事故発生率の順位

1事故あたりの平均支払保険金
⑤ 131.1万円 (全国平均)

震度	発生確率	被害予測	
		全壊確率	半壊確率
5強以上	99.2%	0.0%	0.5%
6弱以上	83.1%	3.8%	12.7%
6強以上	33.7%	33.3%	46.9%

1事故あたりの支払保険金の分布 (全国平均)

~20万円	5%
20~50万円	11%
50~100万円	11%
100~200万円	24%
200~500万円	28%
500万円~	22%

地震による火災

③ 事故事例
地震の揺れに起因して火災が発生。木造の住宅が次々と延焼し、焼け野原となりました。地震保険では、全壊した住宅は全損と認定された。

④ 地震による火災について
地震保険に加入していないと、地震による火災(延焼・拡大を含みます。)損害や、火災が地震によって延焼・拡大したことにより生じた損害について補償の対象になりません。

お支払保険金例 650万円

リスク一覧 | おすすめプラン | ログアウト

⑧ 損保太郎様 へのおすすめプラン
地震保険セットプラン

地震・津波のリスク度合が「高」となっていますので、地震保険をセットすることを強くおすすめします。

POINT 地震保険の保険金額は、最大で火災保険の保険金額の50%です。損保ジャパン/日本興亜の「地震危険等上乗せ特約」をセットすれば、地震保険と合わせて、最大で火災保険の保険金額の100%まで補償することができますのでおすすめです。

⑦ 神奈川県川崎市の加入率 65% (全国平均66%)

5. 活用例

(代) = 代理店さま
(契) = 契約者さま

(2) 水災のリスクコンサルティング

リスクを知る！

(契)水災の補償はどうか。
(代)ご覧のとおり①、お客さまのご住所ですと、洪水時の想定浸水深は0.5~1.0mとなっています。
(契)多摩川が近いからな。うちは少し下ったところに建っているしね。0.5m以上ってことは床上浸水になっちゃうね。

写真付き事故例で語る！

(代)こちらの写真をご覧ください。②
床上浸水だと、建物だけでなく家財も被害が及ぶ可能性が高そうですね。最近では、ゲリラ豪雨などしばしば話題になりますね。こちらは気象庁のデータですが、③お客さまのご住所ですと、30年に1回の大雨があった際には24時間で275mmの降水量と予想されています。参考ですが、こちらの「雨の強さと降り方」④によれば、1時間50mm以上の雨でマンホールから水が噴出したりします。
(契)そんな雨が5時間以上も降ることか。最近では毎年のように洪水のニュースを見聞きするし、心配だな。

当社データで説得力UP！

(代)ちなみに、損保ジャパンの保険金支払データによると⑤、お客さまのような鉄骨造の建物の場合、平均で280万円強の保険金をお支払いしています。水災の場合、実際に被害が遭った時の保険金は比較的高額になる傾向がありますね。



注意

ハザードマップは河川の氾濫のシミュレーションなので、内水氾濫等の都市型水害は反映していません。また近年、過去の実績を大きく上回る降水量を記録するケースも多くなっています。

そのため、リスク度合が「低」で、ハザード情報がない場合であっても、水災の補償を外される場合は丁寧なご説明をお願いします。

(水災の補償には、土砂災害や地すべりによる損害も含まれます。詳細は、個火総のパンフレット等をご覧ください。)

POINT

ご検討の結果、お客さまのご判断で、水災補償を外す場合も、適切なリスクコンサルティングを行っていただければ、お客さまに対して保険加入の納得感を持っていただけますので、代理店の皆さまへの信頼感が醸成されると考えられます。

新規時

更改時



参考：雨の強さと降り方

雨の強さ (予報雨量)	人の受けるイメージ (人への影響)	屋外の様子 (自転車等の運転)	災害発生状況
1時間に 10mm以上 20mm未満	やや強い雨 	地面一面に水たまりができる。 	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
1時間に 20mm以上 30mm未満	強い雨 どしゃ降り。 (傘をさしていてもぬれる。) 	地面一面に水たまりができる。 (ワイパーを早くしても見づら い。) 	倒壊や下水、小さな川があふ れ、小規模の土砂災害が始まる。

5. 活用例

(代) = 代理店さま
(契) = 契約者さま

(3) 個火災の補償内容の説明

新規時

更改時

POINT

写真付き事故例ページで、火災保険の補償の広さをアピール！

(代) まずはこちら全国版ランキングをご覧ください。(1) 損保ジャパンのデータですが、事故件数と平均支払額のランキングです。

(契) 火災保険といっても、さまざまな事故を補償するんだね。

(代) おっしゃるとおりで、事故件数でいえば台風などの自然災害による事故が最も多いんですよ。

(契) 火災保険といっても、火災の事故は意外に少ないんだね！

(代) こちらの写真のように(2)、例えば、台風による雨どいの破損などの事故でも保険金のお支払い対象なんです。

(契) その程度の損害でも保険金支払いの対象になるとは思っていなかったな。

(代) こちらもご覧ください。(3) ご契約のプランによっては、不測かつ突発的な事故、例えば、誤って自宅のガラスを割ってしまった、なんて事故も補償対象なんです。

(契) それも知らなかった。意外とガラスの修理は高いからね…。10万円の臨時出費は相当きつい…。

(代) 最後にこちらをご覧ください。(4) 給排水設備からの水漏れも補償対象です。

(契) 洪水による水災は補償対象になるって、この前テレビでできたけど、水漏れも対象になるとは知らなかったな！

(代) 火災保険はその名称から火災による損害しか補償されないと勘違いされている方がまだまだ多いです、保険期間が長期なので、補償内容を忘れてしまっている方もよくいらっしゃいます。

火災保険は実はお客さまのお役に立てる機会が多いということを、是非覚えておいてください。

(契) ありがとう。写真で見ると分かりやすく、忘れづらくていいね！今後も何かあったときには、まずは代理店さんに電話するよ！

① 全国版ランキング

- 地震・津波
- 水災・土砂災害
- 風災
- 落雷
- 雪災
- 交通事故
- 緊急時マップ

リスク度サマリ

クイック試算

PDFで保存

事故件数ランキング

平均支払額ランキング

第1位 > 水災 > 風災 > 雪災 など

第2位 > 不測かつ突発的な事故 (破損・汚損など)

第3位 > 漏水などによる水濡れ

第4位 > 建物外壁からの物体の落下・飛来・衝突など

第5位 > 盗難

第6位 > 盗難による盗取・損傷・汚損

第7位 > 火災

台風による雨どいの破損

事故事例

台風による強風で、雨どいが破損した。

お支払保険金例 15.7万円

(注1) 損保ジャパン日本興亜のデータ (平成27年度個人用火災総合保険 保険金支払実績) より
(注2) ランキングには地震保険の保険金支払実績は含まれません。
(注3) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

③ 全国版ランキング

- 地震・津波
- 水災・土砂災害
- 風災
- 落雷
- 雪災
- 交通事故
- 緊急時マップ

リスク度サマリ

クイック試算

PDFで保存

事故件数ランキング

平均支払額ランキング

第1位 > 水災

第2位 > 不測かつ突発的な事故 (破損・汚損など)

第3位 > 漏水などによる水濡れ

第4位 > 建物外壁からの物体の落下・飛来・衝突など

第5位 > 盗難

第6位 > 盗難による盗取・損傷・汚損

第7位 > 火災

窓ガラスの破損

事故事例

子供たちが庭でキャッチボールをしていたが、誤ってボールが窓にぶつかり、窓ガラスが割れてしまった。

お支払保険金例 10.8万円

(注1) 損保ジャパン日本興亜のデータ (平成27年度個人用火災総合保険 保険金支払実績) より
(注2) ランキングには地震保険の保険金支払実績は含まれません。
(注3) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

④ 全国版ランキング

- 地震・津波
- 水災・土砂災害
- 風災
- 落雷
- 雪災
- 交通事故
- 緊急時マップ

リスク度サマリ

クイック試算

PDFで保存

事故件数ランキング

平均支払額ランキング

第1位 > 水災 > 風災 > 雪災 など

第2位 > 不測かつ突発的な事故 (破損・汚損など)

第3位 > 漏水などによる水濡れ

第4位 > 建物外壁からの物体の落下・飛来・衝突など

第5位 > 盗難

第6位 > 盗難による盗取・損傷・汚損

第7位 > 火災

水道管からの漏水

事故事例

シンク下の排水管から水が漏れて、キッチンとリビングの床が濡れてしまい、床の修理が必要になった。

お支払保険金例 32万円

(注1) 損保ジャパン日本興亜のデータ (平成27年度個人用火災総合保険 保険金支払実績) より
(注2) ランキングには地震保険の保険金支払実績は含まれません。
(注3) 事故事例は一例ですので、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。

5. 活用例

(代) = 代理店さま
(契) = 契約者さま

(4) 他種目提案等の訪問のきっかけ作り

新規時

更改時

POINT

お客さまと対面できるチャンスを創る！

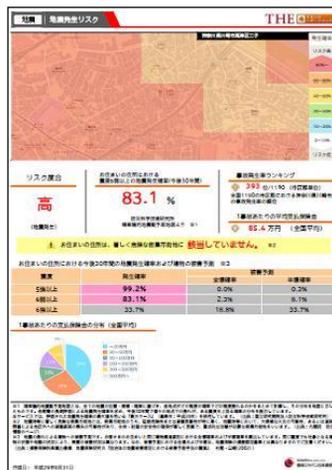
<電話にて>

(代) 先日、自動車保険の満期のご案内とともに、お客さまのご自宅のハザードマップを同封しましたが、ご覧いただけましたでしょうか？

(契) あのレポート、わざわざうちのために作ってくれたの？ありがとう！少し見たけどなかなか興味深いね。

(代) もしよろしければ、自動車保険の契約更新はいつもお電話でいただいておりますが、新サービスのハザードマップを是非、タブレットの画面でお見せしたいのですが、お伺いしてもよろしいですか？

(契) そうだね、ちょっと気になるところもあるし、よろしく頼むよ。



<PDF印刷イメージ>

POINT

お客さまに交付するためのハザードマップ紹介チラシもありますので、適宜、情宣に活用してください。



注意点

PDF化したレポートを郵送することも可能ですが、PDFは掲載されている情報が限られているので注意ください。また、本サービスはあくまで情報提供の一環なので、それを活用し増収に結びつけたり、お客さまの満足度をあげるには、代理店の皆さまの補足のご説明が必須となります。

(5) 交通事故多発マップを活用した他種目アプローチ

新規時

更改時

POINT

他種目販売のきっかけを作る！

(代) 今年も傷害保険の更新ありがとうございました。ところで、新サービスで、ハザードマップサービスというものがあるって、その中に、事故多発地点マップというユニークなコンテンツがあるんですよ。いかがですか？

(契) うちの周りの地図だね。国道246号のあの交差点はたしかに交通量が多いし、事故が多そうだね。細かく、よく反映してるね。

(代) ありがとうございます。このマップは損保ジャパンの自動車保険の事故データを使って作成しているものです。このあたり、結構、交通事故が多いみたいですね。

(契) たしかに、第三京浜のほうも事故多いな・・・

(代) ところでお客さま、自動車保険の補償内容は大丈夫ですか？お子様は自転車にも乗られているので、自動車保険とともに、自転車での事故も心配です。

(契) 契約内容は忘れちゃったな。ちょっと証券持ってくるから待ってて。



POINT

上記のトーク例以外にも、例えば、ポータルスマイリングロード(PSR)への話のつなぎにも使えます(事故多発地点情報はPSRに実装されたものと同じデータです。是非、事故多発地点情報が実装された当社オリジナルカーナビであるPSRも積極的にご提案ください。)。また、自転車の交通事故リスクから傷害保険や生命保険等へのアプローチも可能です。

5. 活用例

(代) = 代理店さま
(契) = 契約者さま

(6) 「内閣府(防災)からの重要なお知らせ」と併用

新規時

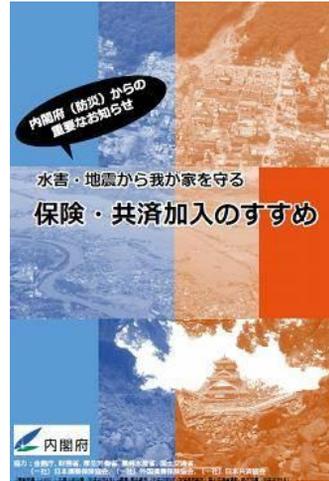
更改時

POINT 国策とも同調した取組みをアピール！

(契) ハザードマップって名前は知っていたけど、今まで見たことがなかったら、とても参考になったよ、ありがとう。こういうものが、前から市役所のHPにも開示されていたんだね。

(代) そうなんです。最近、洪水や土砂災害もよくニュースになりますよね。国や地方自治体も皆さまをお守りしようといういろいろ取り組んでいます。こちら、住宅の保険・共済の加入促進のために、内閣府が作成したパンフレットです。このパンフレットにも、災害リスクの情報収集の大切さが記載されており、本サービスでも利用している各種ハザードマップ等の情報が紹介されているんですよ。

(契) 本当た！内閣府と聞くと、なんだか信頼感があるね。国もこういった取組みを推進していることがよく分かったよ。



「水害・地震から我が家を守る 保険・共済加入のすすめ」
http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hisaisha_kyosai/pdf/panf.pdf
(内閣府ホームページ)

(7) 保険料クイック試算の活用

新規時

更改時

POINT 1分で概算保険料をご案内できます！

(契) 地震リスクや水災リスクが高そうということは、よく分かったけど、で、肝心な保険料はいくらくらいになるの？

(代) そうですよ。詳細のお見積は、細かい情報をいただいて作成いたしますので少しお時間をいただきたいのですが、こちらのクイック試算でしたら、1分ほどで概算保険料が試算できます。(①) 少々お待ちください。…保険料が出ました！いかがですか？

(契) 早いね！保険料がだいたいわかったよ。これくらいの金額ならすぐ加入できるから、後日、詳細なお見積と申込書も一緒に持ってきてもらえる？



当社で事前に実施した消費者アンケートにおいて、新規のお客さまの場合、概算でも保険料を先に確認したい希望が強いことが確認されています。
是非、クイック試算をうまく活用して、適切なタイミングで、お客さまの求める情報をお伝えください。

5. 活用例

(8) その他

POINT

使い方は代理店の皆さまの腕次第！ 募集活動にうまく落とし込んでご活用ください！

話のネタに活用

新規時

更改時



既存のお客さまへの情報提供として、話のネタとして活用しています。
紙のチラシやパンフレットより、タブレット端末だとお客さまの食いつきがいいですね。また、よく、「別居の家族や親戚の家についても教えて！」と言われるますが、そんな話の中で、世帯情報や属性情報を聞き出せるので、結構営業に役立っています。
また、緊急時マップは、ご家庭内での防災への意識付けに、一役買っているようです。改めてご家族でもしもの時にどうするか、を話し合っていたく機会になればと思い、情報提供しています。

新規白地開拓で活用

新規時

更改時

白地開拓の際に、ハザードマップはよく使用します。
保険の売り込みだと思われると思われがちですが、情報提供という切り口だとお話を聞いていただけるケースが多いです。
写真などを参考にして、火災保険の詳細の補償内容を説明すると、意外とお客さまの反応がいいですよ。
話の流れで、火災保険の他社証券(Xデート)を獲得するように心掛けています。



お客さま専用レポートとして特別感の演出に活用

新規時

更改時



特に、新築のお客さまやアパートオーナーの方に保険提案とあわせて情報提供しています。
大口の案件ですので、是が非でもうちをご採用いただきたいのですが、保険の設計だけでは、なかなか他社差別化が困難なのが現状です。そんな時、お客さま専用レポートとして本ハザードマップレポートをファイリングして、保険設計書に添えて提案することで、他社差別化とともに、お客さま専用の特別感を演出できるので助かっています。高い保険料をいただくわけですので、少しでもプレミアム感を出したいですね。
また、大口のお客さまでなくても、こういったレポートは顧客満足に繋がりますし、1つのレポートであったとしても、「あるとなしでは、ちゃんとやってくれてる感が全然違う」と言われたこともあります。

5. 活用例

(8) その他

更改のご案内に同封して活用



当代理店では、独自の満期更改ご案内セットを作成して、満期を迎えるすべてのお客さまに郵送していますが、それに「**THEすまいのハザードマップ契約者向けチラシ**」を同封して送り、反応があったお客さまには、アポをとって訪問するようにしています。火災保険は他代理店で長期で加入されてしまっていることが多いですが、**補償内容を見直す良いきっかけ**になっています。

特に、うちは自動車保険のみのお客さまが多いので、火災保険をはじめとした多種目提案への展開に一役買っています。せっかく訪問するのですから、**世帯販売**につなげたいですね。

新規時

更改時



<契約者向けチラシ>

企業開拓の時にも活用

企業のお客さまのリスクコンサルにも活用しています。そのままレポートをお渡しすることはしませんが、例えば、**地震発生確率や洪水時の想定浸水深などは企業さまにとっても十分有効な情報**ですので、参考数値としてご確認いただいています。企業の担当者さまは関心度が高いのでよくお話を聞いていただけますよ。最終的には、**地震危険補償特約**の提案につなげたり、火災保険の補償内容の見直しに、参考として活用しています。

新規時

更改時



(注)「事故発生率ランキング」、「1事故あたりの支払保険金の分布」および「保険金支払件数」等のデータは個人分野火災保険の統計値です。

来店型店舗の受付で活用



当代理店では来店型の店舗づくりに力を入れていますが、ご来店いただいたお客さまに対して、**店頭PC**でハザードマップを紹介しています。特に、初めてご来店いただくお客さまに対してのアイスブレイクとして重宝しています。直接的な保険提案ではないので、気軽に提案できるのがいいですね。

新規時

更改時

保険手続きNaviとともに活用

当代理店では、個人情報漏洩対策と募集品質向上の観点から、業務のペーパーレス化を進めており、個人向けの自動車保険と火災保険は原則、**保険手続きNavi**で手続きするように心掛けています。最近では、全ての募集人にタブレット型端末を貸与して推進していますが、本サービスはタブレット型端末に対応しているため、自然な流れで提案できて使いやすいですね。タブレット型端末1つ持っていけば、ニーズ喚起から契約手続きまで完結できる便利な時代になりましたね。

新規時

更改時



6. よくある質問集

ハザードマップ情報等について

- Q. 他で入手したハザードマップと値が異なるものがある。
- A. 観測主体や観測手法によって異なる場合があります。なお、当社のハザードマップは内閣府や国土交通省が開示しているオープンデータを加工して作成しています。詳細は各リスクページおよびそこからリンクしている各外部サイトでご確認ください。
- Q. 緊急時マップで、記載されている施設は実際には既に無いのだが。
- A. 当該ページは国土数値情報を引用していますので、そちらに反映されていない場合は未反映となっています。国土数値情報のデータの更新日については、以下URL(※1)でご確認ください。なお、直近の避難施設等の情報は地方自治体の公式HP等でご確認することを推奨します。
- ※1 <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P20.html>
- Q. 津波のリスクが少ない(弱い)ようだ。
- A. 津波リスクは入手・加工できるデータの制約から、南海トラフ地震および首都直下地震発生時のハザード情報になっており、それ以外の地震を想定しているものではありません。また、同様の理由で、液状化リスクは南海トラフ地震発生時のハザード情報ですので、ご注意ください。なお、津波リスクについては、地方自治体等が開示しているハザードマップや国土交通省が開示しているハザードマップ(※2)も併用すると効果的です。
- ※2 <https://disaportal.gsi.go.jp/>
- Q. 浸水リスクが「高」だが、うちはマンションの上層階なのでリスクはないのでは。
- A. 本サービスは、お客さまのお住まいの所在地におけるリスクを見える化しているものですので、お住まいの階数は考慮していません。あくまで、お客さまのマンションを取り巻くリスクとして捉えていただきますようお願いいたします。なお、水災補償には土砂崩れ・地すべりの補償なども含まれておりますので、補償の有無については、慎重にご判断ください。

6. よくある質問集

当社データについて

- Q. 事故発生率ランキングで「データなし」と表示されるが、なぜか。
- A. 保険金支払件数または当社の保有契約件数が所定の件数に満たない市区郡の場合、「データなし」と表示しています。
- Q. リスク度合が「高」となっているが、事故発生率ランキングは比較的低い(事故が少ない)ようだが、矛盾していないか。
- A. リスク度合は公的機関等が開示している客観的なデータに基づき、当社基準で区分している指標です。一方、事故発生率は、当社データ(市区郡ごとの保有契約件数と事故件数)から算出しています。元データの属性が異なっていますし、考え方(算出方法)が異なるので、ご質問のような事象も起こる可能性があります。
- Q. 平均支払保険金だが、例えば、地震保険(M構造)だと、85.4万円と表示されるが、少なくないか。
- A. 平均支払保険金は、災害区分別の1事故あたりの支払保険金の平均額(全国平均)で、お客さまのお住まいと同じ建物構造級別における平均支払保険金を表示しています。
実際には500万円を越すような高額なお支払いも多くありますが、それでも平均額が思いのほか低いということは、例えば、20万円くらいの比較的小規模な損害に対しても、多くのご契約者さまに保険金をお支払いしている証でもあります。
小規模な事故(損害額)であっても、当社はしっかり査定し、少しでも多くのお客さまへ保険金をお届けすることで、皆さまのお役に立っているものと考えています。

6. よくある質問集

活用方法について

- Q. 既にフルカバーで補償されている既契約者に対して、リスクが少ないという結果のレポートをお見せするのは、減収につながってしまうのでは。
- A. 本ツールの使い方および使用の有無については、代理店の皆さまに委ねられていますので、是非、代理店の皆さまの募集スタイルに合わせて有効的な使い方をしてください。
ただし、本サービスで表示しているハザードマップ等の情報は、一般公開されているオープンデータを集約しているに過ぎないため、お客さまご自身が他で同様なハザードマップを目にすることもあるかと思えます。
そのような状況下においては、火災保険の募集の際にも、リスク実態に関わる各種情報をきちんとお客さまにお伝えし、納得感をもって火災保険に加入いただくことが大切であり、リスクのプロフェッショナルである保険会社および代理店の皆さまに求められていることだと考えています。
また、その結果、お客さまが納得感を持って、保険に加入(または補償を削減)することで、火災保険への理解・納得感が醸成され、ひいては代理店の皆さまへの信頼感が高まっていくものだと考えています。
- Q. リスク度合が「低」なら、保険に入らなくていいのか。
- A. ハザードマップ情報や保険金支払実績は、過去の実績やそれを基にしたシミュレーションですので、判断の材料(参考)となりますが、将来的なリスクを保証するものではありません。
そのため、事故の可能性が0%でない限り、保険(補償)の提案は行なうべきと考えています。
- Q. お客さまと対面しても、なかなか十分なお時間をいただけないので、全てのリスクを説明する時間がないのだけれど。
- A. リスク度サマリが「高」のものに  の印がありますので、ピックアップしてご説明することをおすすめします。
- Q. 個火総のお客さま向けとのことだが、企業向けの火災保険を提案するお客さまにも本サービスを使用して問題ないか。
- A. 画面構成や掲載データ(※1)は個火総(および家計地震)を想定していますので、企業向けの火災保険と内容がそぐわない箇所はありますが、誤認がないようにきちんとご説明いただければ、ご使用いただいても問題はありません。
例えば、地震の発生確率や洪水時の浸水リスクなど、個火総に限らず参考になる指標もありますので適宜、利用してください。
- ※1 「事故発生率ランキング」、「1事故あたりの支払保険金の分布」および「保険金支払件数」等のデータは個人分野火災保険の統計値です。

6. よくある質問集

操作方法・機能について

- Q. 正確な住所を入力しても、住所確定画面で地図上では、本来の住所を指していない。
- A. 新しい地番や市制変更が反映されていない場合があります。その場合はお手数ですが、手動でお客さまの住所にピンを動かして、住所確定させてください。
- Q. 他の住所(契約者)でも試してみたいが、住所入力画面に戻れない。都度ログアウトが必要なのか。
- A. 画面左上のお客さま氏名( お客さま)を押下すると、お客さま情報を編集できます。
- Q. スマホでも閲覧は可能か。
- A. 本サービスは、PCやタブレット型端末での使用を想定して画面を構成していますので、操作性や視認性は下がりますが、スマホでも使用することは可能です。
- Q. このツールから個火総の見積書や申込書は作成できないのか。また、既契約データと紐付けてレポートの出力等はできないか。
- A. 本サービスはSJ-NETと連携していませんので、保険設計機能はありません。あくまでニーズ喚起ツールとしてご活用いただきますようよろしくお願いいたします。
なお、概算試算になりますが、クイック試算(公式HP)への遷移機能がありますので、適宜、ご利用ください。
- Q. 本ツール内にお客さま情報を保存する機能はあるか。
- A. 本ツールは代理店の皆さまの使いやすさを重視し、個人情報を保持しないことで、ログイン時の入力作業等を極力省略化しています。
本ツール内にはお客さま情報を保存する機能はありませんが、住所検索等も簡単ですので、ストレスなく操作いただけるものだと考えています。
なお、出力したハザードマップレポートをPDF化して保存することは可能ですので、必要に応じて、マイドキュメント等に保存いただきますようお願いします。
- Q. 出力したPDFのマップの縮尺は個別に変更できるか。
- A. 「一括して保存」からPDF化すると、マップの縮尺は固定されますが、「このページを保存」からPDF化すれば、お客さまごとにマップの縮尺の調整が可能です。詳細は、本マニュアル11ページをご覧ください。

7. ご利用上の注意



このページに記載されているご利用上の注意は、本サービス内に掲載されているものと同じ内容です(本マニュアル7ページ参照。)。必ず事前に内容を確認した上で、ご利用いただきますようお願いします。

データご利用上の注意

(1)本サービスは、公的機関等から入手した各種データおよび当社が保有している保険金支払データ等を用いて、自然災害等のリスク度合について助言を行うサービスです。本サービスで表示している各種データ等については、過去の実績およびそれに基づいた将来予測ですので、各種自然災害等が想定通りに発生すること、およびその被害の程度を確約するものではありません。あくまで可能性の一つであることをあらかじめご了承ください。

(2)本サービスは、公的機関等から入手した各種データ、当社保有データおよびEsriとESRIジャパン株式会社※の地図データ等を元に作成しています。各種データは、平成29年2月1日時点で入手可能な最新のものを使用していますが、その後の土地の造成等や自然災害の発生等により、現況が本サービスの内容と一致しない場合があります。※本サービスにおける地理情報システムは、ESRIジャパン株式会社の協力のもと構築しています。

(ESRIジャパン株式会社HP : <http://www.esri.com/>)

(3)本サービスにおいて使用している国土数値情報は、各都道府県の提供資料等に基づいて組成されたデータが含まれているため、都道府県によっては一部データが表示されない場合があります。ハザードマップの情報につきましては、お住まいの都道府県や市区町村のホームページ等で公表されているデータ等もあわせてご確認ください。

著作権、財産権その他の権利

(1)本サービスに含まれているコンテンツおよび各種情報、商標、画像、デザイン等(以下、「コンテンツ等」といいます。)に関する著作権、商標権その他の知的財産権・財産権は、当社もしくは当該コンテンツ等を創作した著作者または著作権者等に帰属しています。

(2)ご利用者さまは、コンテンツ等に関する正当な権利者(当社もしくは著作権、商標権その他の知的財産権・財産権を有する第三者)から利用・使用を許諾されている場合を除き、コンテンツ等の複製、編集、改変、掲載、転載、公衆送信、販売、配布、提供等はできません。

免責について

(1)本サービスにおいて公的機関等から入手している各種データにつきましては、その内容自体についての正確性・妥当性・完全性、その他一切の事項について当社が保証するものではありません。表示情報の最終的な利用および内容の確認は、ご利用者さまが自己の責任において行ってください。ご利用者さまがこれらの情報に関連し損害を被った場合、当社は一切の責任を負わないものとします。

(2)当社は、本サービスの全部または一部をご利用者さまへ事前に通知することなく、変更、中断、または終了することがあります。それによりご利用者さまが損害を被った場合でも当社は一切の責任を負わないものとします。

8. (参考) 事前トライアル

事前トライアルの概要

今般、本サービスの開発に先立ち、一部の代理店の皆さまにご協力いただき、WEBアプリのユーザビリティ等の確認を行ないましたので、ご参考までに、その結果をご紹介します。

実施期間

2017年3月1日から2017年4月9日まで

実施方法

保険募集時に、募集人がお客さまに実際に本ツールを使用していただき、その結果について、その募集人からアンケート形式で回答していただく。

参加募集人

プロ代理店（研修生含む）を中心に43名の募集人。

契約者数

137名

アンケート結果

1. 顧客の満足度向上への寄与度 (お客さまの反応)

全体的な反応	人数	割合
大変良い	24名	20.5%
良い	70名	59.8%
普通	23名	19.7%
悪い	0名	0.0%
(選択なし)	20名	—
	137名	100.0%

2. 募集活動（商品説明等）における有用性 (個火総の補償内容の説明しやすさ・お客さまの理解度)

説明しやすさ・理解度	人数	割合
マップを利用することで説得力が増した	25名	23.4%
どちらかというと言説力が増した	58名	54.2%
マップ利用前後で変わらない	24名	22.4%
どちらかというと言説力がなくなった	0名	0.0%
マップ利用により説明に説得力がなくなった	0名	0.0%
(選択なし)	30名	—
	137名	100.0%

3. 他の募集人への推奨度

推奨度	人数	割合
非常に強く推奨したい	5名	11.6%
強く推奨したい	9名	20.9%
普通に推奨する	20名	46.5%
やや推奨する	7名	16.3%
あまり推奨しない	2名	4.7%
推奨しない	0名	0.0%
	43名	100.0%

4. 更改時に実際に単価アップしたか

(更改の場合) 単価アップできたか?	人数	割合
地震保険セット	5名	8.1%
水災補償セット	2名	3.2%
保険金額増額	3名	4.8%
家財セット	1名	1.6%
その他	4名	6.5%
更改アップなし	47名	75.8%
	62名	100.0%

<本ツールを使用した募集人のおもなコメント(抜粋)>

他社差別化になる。(9名) 保険料で負けてもそれ以外で勝負できるツール。(1名) 自治体ハザードマップより見やすく、**その顧客のために作成した特別感がある**。(4名) **リスクの専門家**としての信頼度アップにつながる。(2名) **訪問のきっかけや他種目へのきっかけとなるツール**。(6名) 顧客との会話の広がり大きく寄与した。(4名) 保険料勝負の話では無く、保険の出口の話(過去の事故の話や、事故時の修繕費など)が出来る。(1名) 地震発生率など、企業系の地震拡張担保特約の拡販にも活用できる。(2名) 代理店が地震をはじめとする災害についてしっかり話せるようになる(募集人の教育にもなる)ツールだと思う。(1名)

9. (参考) 消費者モニター調査

消費者モニター調査の概要

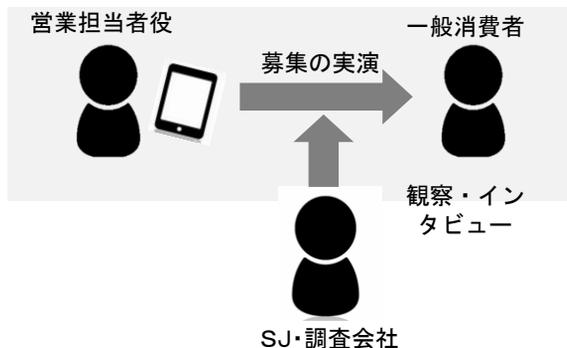
今般、本サービスの開発に先立ち、調査会社の協力のもと、一般消費者の方に対して、火災保険の意識調査および本サービスのユーザー調査を実施しましたので、ご参考までに、その結果をご紹介します。

実施方法

公募した一般消費者に対して、「パンフレットのみ」と「パンフレット+本サービス」でそれぞれ募集のロールプレイを行い、営業担当者役および火災保険に対する信頼感や納得感に変化が生じるかの検証。

ユーザー数

新規契約者・更改契約者であわせて8名



調査結果 (ヒアリング結果)

WEBアプリを利用した方が、WEBアプリを利用しない場合よりも営業担当者・火災保険に対する納得感・信頼感が高まった。

納得感・信頼感の変化
パンフのみ パンフ+アプリ

理由

	1人目	2人目	4人目	5人目	7人目	3人目	6人目	8人目
新規	4	→	6-7					
	7	→	8					
	5	→	数字での回答なしだが、向上とのこと					
	5	→	数字での回答なしだが、向上とのこと					
	10	→	数字での回答なしだが、向上とのこと					
更新	10	→	10 ※実質向上					
	見積がないため参考にならない、とのこと							
	3-4	→	10					

「やっぱり写真を見るというのは、説得力が急に増しますね。」
 「66.2%って数字をみて地震保険に入ったほうがいいと思った。やっぱり、首都直下も南海トラフも生きてるうちには必ずあるだろうと。」

「リスクの度合とか、発生確率とか数字で表されると、実際『本当にこの地域っていうのは危ないっていうか危険性があるんだな』って、分かりますね。」

「全然アプリを使った時の方が納得しました。数値で出されると納得。」
 「地震で荒れている家具の写真を見て、地震の時に親戚の家の建物は問題なかったが食器類が割れてしまったという話を思い出した。」

「このマップ、自分の実際住んでるところが出てるのでその地域の数字、事故発生率とか支払い金額とかでいうとちょっと不安になります。」
 「手厚いプランとか水災も付けておいた方がよかったのかなって」

「リスク度合が書いてあると、これはないだろう自分は思っているけど実際あるかもしれないと思えるようになった」
 「地震保険はに入ったほうがいいとおもった」

「台風でガラスが割れちゃった時とか、どうなるのかな(補償されるのか)って思ってたんですけど、確かめられてよかったです。火災保険は火事のみ補償と思っていたが、様々な補償があることをはじめて知った。」

「気になったのは地震保険の家財。」「家財が荒れている写真を見て、地震で家は壊れなくても、食器などが壊れる可能性はあると思ったから」

「雷で家電が壊れても、補償の範囲内だとわかって驚いた」
 「ビジュアル(写真)で被害の状況を見た方が圧倒的にわかりやすい」

9. (参考) 消費者モニター調査

調査結果 (アプリ利用時におけるユーザ行動サマリ)

POINT

ユーザが説明を聞いていられる限界は、30分程度であることが多い。

- ・ユーザーの火災保険に対するマインドシェアは比較的低い。
ユーザーは火災保険についての知識が乏しいが、特段、詳しくなりたいと考えているわけではなく、分かりやすく要点を教えて欲しいと思っている。
- ・極力短い時間で、契約手続きを済ませてしまいたいと思っているユーザが大半である。
- ・しっかり話を聞いていられるのは、おおよそ30分程度と考えられる。

POINT

納得度・信頼度向上のためには、火災保険という商品の理解とリスクの自分ごと化がカギ！

■火災保険という商品の理解

- ・多くのユーザーは補償範囲を認識しておらず、中には「火災時しか適用されない」と考えているユーザーも存在する。
- ・そのため、火災保険がどのようなことに使えるか(補償されるか)が具体的にわかると「こんなことまで補償される」「思ったより多くの損害に補償される」と感じ、火災保険に加入することへの納得感と、具体的に説明してくれた募集人への信頼度が高まる。
- ・保険はお守りという考え方から、「実際に使えるもの、身近なもの」というイメージに変えることができる。

■リスクの自分ごと化

- ・多くのユーザは、災害で大きな損害を受けた経験は少なく、災害によって生じる損害のイメージがついていない。
- ・具体的に災害発生時に受ける被害のイメージができると、保険に入る必要性を感じられる。
- ・また、自分の居住地域での災害発生リスクがわかることで、保険に入ることへの納得感が高まる。また、自分の地域のリスクを知る機会(説明される機会)はほぼないため、そのような説明をしてくれた募集人への信頼感が高まる。



**SOMPO
HOLDINGS**

Innovation for Wellbeing